

## 2025（令和7）年度豊橋創造大学 有識者による外部評価とそれに対する所見・対応等

### ■保健医療学部理学療法学科

外部評価者：愛知県理学療法士会学習局 卒前教育部部長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科（科）の所見及び対応等
(1) 入学者の受け入れについて 評価：適切である。  入学者受け入れに関しては、全国的に募集状況が停滞しております。愛知県内の養成校の中でも専門学校は大変苦戦しております。東三河で唯一の養成校として特色を生かした広報活動を継続されることでオンラインリーワンになると信じております。	入学生確保のため学生募集 WG・広報委員会を中心に学科全体で学生募集の取り組みを行っている。SNS での情報発信、オープンキャンパスにおける在校生の紹介ポスターによる高校生や保護者へのアピール、地域貢献活動やスポーツトレーナーサークルによる部活動などの支援活動を実施している。今後も、高い国家試験合格率（2024 年度新卒 100%）や三遠ネオフェニックスと連携活動、三河地区唯一の理学療法士養成校であることを積極的にアピールし、学生確保に努めていきたい。
(2)カリキュラムの内容・学習方法・学習支援・学習成果について 評価：適切である。  昨年同様学科縦断カリキュラム東三河創造入門は大変興味深く卒業生の愛校心が薄れる中で母校愛が構築されると思われます。	「東三河創造入門」では他学科の学生と同じ課題に取り組むことで幅広い人間性の構築、地域における本学の役割を理解することを目指している。今後は、学生が進んで選択するような魅力ある科目として内容を充実させることが課題である。
(3)本学の教育活動全般について。 評価：適切である。  愛知県の養成校で対外的な活動を禁止されていることもあるようですが、貴学においては職能団体等の活動で理学療法士の未来を構築する活動を行われて見えるため、講義等で生かされていると思われます。	本学科教員はそれぞれ専門職業人として、地域・社会へ貢献する活動を行っている。そのことは、理学療法士の社会的立場・地位・待遇の改善に繋がり、高校生が理学療法士になりたいという気持ちを後押しすることになると考えられる。理学療法士としての専門的な知識を持ち、教育、研究、社会貢献などができる、魅力ある教員による、魅力ある講義を行えるよう今後も努めていきたい。
(4)その他 評価：適切である  教員が研究者であることと、同時に教育者であることが強く伝わります。検討を重ねた効率化も実施されており、他校の模範となると思われます。	本学科教員はそれぞれ専門学会に所属し、高度な専門的知識と技術を持つことで研究活動は活発に行われ、科研費等も毎年獲得している。これらは教育に反映され、希望する学生は大学院へ進学することも可能となっている。今後も、各教員による専門的知識と技術の研鑽を継続し、魅力ある大学教育へ繋げていきたい。

## 2025（令和7）年度豊橋創造大学 有識者による外部評価とそれに対する所見・対応等

### ■保健医療学部看護学科

外部評価者：愛知県看護協会 教育センター長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科（科）の所見及び対応等
(1) 入学者の受入れについて 評価：適切である	〈評価の根拠を踏まえ〉 ご指摘いただいたように急激な少子化とそれに伴う高校生人口の減少を背景に、本学のような地方の私立大学は受験生確保に苦慮しています。オープンキャンパス開催方法、入学試験形態など他大学の情報や専門業者の意見を参考にしながら検討修正しています。SNS の充実を図り、できるだけ大学の様子を伝えられるように教員、在校生のインスタライブ等も取り入れています。また、東三河地域と静岡県西部地域出身の入学生が多いため、ターゲットを絞り高校訪問を実施しています。実施内容を評価検討しながら、引き続き入学者確保に向けて尽力してまいります。
(2) カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について 評価：意見・要望あり  進級制の影響もあり、1,2 年時の留年生が多く、全体では 20 名となっています。また、退学者も他学科と比較し昨年度は多い状況です。聴講を勧めるなど支援は行ってみえますが、原因を分析し留年・退学者が減少するようさらなる検討をお願いします。 専門科目は、発達段階を中心に編成されており、「成熟期看護学」を特徴としているが、シラバスにある教育内容としては成人期と老年期の看護がそれぞれの科目に分かれているように見えるので、「成熟期看護学」とした内容が学習者に伝わるよう、「成熟期看護学演習Ⅲ」のような領域を横断するような科目を構築するなど、	進級制は、「豊橋創造大学保健医療学部進級卒業判定規程」で学部の規程として規定されています。また看護専門科目を学ぶためには順序性があること、必修科目が多く授業の空きコマもないため不合格科目をもって進級してもその学年に配当された科目と不合格科目を履修することが困難な場合が多いことが予測されます。そのため進級制を継続しておりますが、検討の必要も考えています。 1、2 年次の留年が多いことには対策を立てており、定期試験不合格者には、再試験前に補習講義を行っており、これまで再試験でも不合格が多かった「病態と治療」「保健医療統計学」は効果がみられています。しかしながら、高校生までに学習習慣が身についていない学生、親や教師に勧められて入学した学生も一定数おり、看護学科での学習意欲が継続できず進路変更を希望する学生も以前より多くなりました。引き続き必要な学生には補習講義等実施とともに、看護学を学ぶ気持ちが継続できるよう個別の対応を丁寧に行ってまいります。

教育内容のさらなる精選と組織化を期待します。	<p>す。</p> <p>今年度は、2022年度カリキュラムが4年目を迎える、一部改正の必要があるカリキュラム内容について、文部科学省に変更承認申請しました。しかし看護学教育モデルコアカリキュラム（令和6年度改訂版）が示されたため、コンピテンシー基盤型教育の考え方方に沿った次なるカリキュラムの見直しが必要と考えております。その際には、成人看護学・老年看護学の指定単位数を保証するとともに、領域を横断するような科目構築なども含めて本学の特徴となる教育内容の更なる精選と組織化に努めてまいります。</p> <p>また学生に関する健康相談件数の減少については、学生が利用しやすい相談窓口となるよう周知に努めてまいります。</p>
(3) 本学の教育活動全般について 評価：適切である	<p>本学は受験生、学生数の減少が逼迫した課題になっております。学長のリーダーシップのもと、対策を検討し実施しておりますので、結果を評価しながら効果があるように進めてまいりたいと思います。また、年1回開催の「教育・学生生活改善会議」では、学生代表からの意見聴取を行い、大学の教育活動に役立たせています。</p> <p>就職希望者は100%就職できているため、今後も就職支援を継続していきます。</p>
(4) その他 評価：意見・要望あり 専任教員等の数について、基準数は満たされているが、看護学科においては臨地実習での支援が不可欠であり、現在の25名及び助手3名では、かなり教員に負担がかかっていると思われます。臨地実習で心身に不調が生じる学生も多いと思いますので、実習指導教員を配置するなど、教員の確保と質の向上についてご検討いただけることを期待します。	<p>領域によっては教員の基準数が満たされていないため、教員公募をしております。応募者もあり来年度は今年度よりも教員数は充足する見込みです。臨地実習については、必要に応じて非常勤実習助手を雇用し対応しており、今後も継続し実習指導の質を担保できるようにしていきます。また実習施設との丁寧なコミュニケーションを図っておりますので、本学の教育目標を踏まえ適切に指導頂けるよう努めてまいります。</p>

## 2025（令和7）年度豊橋創造大学 有識者による外部評価とそれに対する所見・対応等

### ■経営学部経営学科

外部評価者：豊橋商工会議所 ビジネスサポートセンター長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科（科）の所見及び対応等
(1) 入学者の受け入れについて  評価：適切である  インターンシップなど地元企業との密着型・実践的かつ継続的な活動がみられる。また、地元を意識した職業観の変化や社会の雇用情勢を踏まえたキャリア形成科目も設定されている。本年は定員数において充足率の改善がみられた。今後も、さらに社会性を高める実践的な活躍（特に地元企業との密着性など）を露出させ、地域一体となった入学者へのアプローチに期待したい。	本学部の特徴の一つに、プロジェクト活動やインターンシップなど、実践的な学びの場としての地域社会・企業との密度の高い連携がある。これらの点をPRしながら、今後も定員数の充足率の改善に努める。その中で、在学生のみならず、卒業生の社会での活躍（地元企業との密着性）を発信する具体策を、今後検討していきたい。
(2) カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について  評価：適切である  SDGs 新商品開発プロジェクトなど地元企業との連携により、地域産業発展の一助となる活動も行っている。また東三河をテーマにした学科横断型カリキュラムも導入されており、今後も地域への理解度・密着度を高める活動に期待したい。  その他、情報系の資格取得をはじめスキルアップにも取り組まれている。今後はさらにビジネス資格（中小企業診断士・社労士等）取得も学科等で推進されると、より社会適応力・実践力とともに大学の魅力も高まると考える。	地域の企業・行政機関と連携したプロジェクト活動に対しては高い評価を頂き、一つのプロジェクトが長期間継続する傾向にある。連携先機関からは毎年新たな要望を頂くなど、密着度も強まっている。今後、活動内容や成果をより分かり易く学外に発信することで、新たな地域社会のニーズを発掘しながら地域のさらなる活性化に貢献できるよう努めていきたい。また、インターンシップへの参加学生数が増加傾向にあることから、実習受入先企業を拡大しながら、この分野でのさらなる連携の強化を図りたい。  ビジネス系の資格については、学生のニーズを把握するとともにキャリア・センターと連携した指導体制の在り方を協議しながら、支援の方向性を検討していきたい。
(3) 本学の教育活動全般について  評価：適切である  少子化の中で、知名度の高い国立大学や私大との競合が激化する	本学の教育理念「地域密着の大学として、職業教育を行い、その過程において人間的な成長を促す」に則り、今後もインターンシップやプロジェクト活動、卒業研究、さらには各種講座の開催等で地域社会・地元企業との連携を強化し、

中で、地域産業の高いポテンシャルを十分に理解し、地域社会に役立つ実践的な教育をポリシーに掲げながら活動を行っている。今後も、さらに地元企業と地域産業の発展・振興につながる地元密着型の大学としての活動に期待したい。

地元密着型の大学として期待に応えらえるよう取り組んでいきたい。

## 2025（令和7）年度豊橋創造大学 有識者による外部評価とそれに対する所見・対応等

### ■大学院健康科学研究科

外部評価機関（外部評価者）：豊橋市民病院及び豊橋市保健所における本学が委嘱した職員

※大学院健康科学研究科の外部評価を実施する「豊橋創造大学大学院健康科学研究科の教育活動に関する協議会」内で実施

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科の所見及び対応等
入学者の受け入れについて  ① 合格率を提示願いたい。また、不合格者がいる場合は、その理由）教えていただきたい。【豊橋市保健所】  ② 協議会のディスカッションでも挙がりましたが、仕事を持つ学生の入学希望があっても、職場のサポートや理解が必須です。学生獲得には、市民病院や市役所を含めた企業への支援アプローチが必要だと思います。【豊橋市保健所】  ③ 豊橋創造大学大学院の教育活動が、既に就職し働いている医療従事者などほとんど知られていないのではないか？働きながら学べる環境は整っているため、まず周知が必要と考える。例えば、医療従事者が関心を持つ講座を開催し、その中で教育活動の紹介をするなど、学びたい気持ちのある医療従事者に知ってもらえると良いと考える。【豊橋市保健所】	①合格率は100%である。したがって、これまで不合格者はでていない。 ②ご指摘の通りである。支援依頼方法も含めて検討していきたい。  ③定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通じて努力する。
学修支援について  なし	
教育活動（教育課程の編成等）について  ① 地域健康課題の解決に取り組むマネージメントができる人材が必要。取り組み課題と一緒に研究できる体制があると良い。【豊橋市民病院】	①大学院として、学外の関連諸機関との連携強化について検討していく。 <u>《昨年度指摘事項》</u> 。

プログラム修了後の修了者の状況について なし	
教育活動全般について なし	
<p>教育活動について個別の視点</p> <p>① 修士課程を取得することで、活かせたことが具体的に出ていていると学生の興味が沸くのではないか。【豊橋市保健所】</p> <p>② ZOOM での授業参加が増えるとより利便性がたかまるのではないか。【豊橋市保健所】</p> <p>③ 社会人から入学者を確保するためには、「働きながら学べる環境を整える」ことが必要で、企業や業界団体などが「人材育成のための投資」と考えれば、時間的・経済的なバックアップが得られ、入学を希望する者が増えていくのではないか。【豊橋市保健所】</p> <p>④ 一般的には大学院修士課程は「研究するところ」という印象が根強いので、「研究を通じて情報収集力、分析力、課題解決力を高めることができる人材育成の場」であることをアピールしていくことが企業側の理解を得られるために有効ではないか。【豊橋市保健所】</p> <p>⑤ 協議会で聞いた「問題解決能力」が身につき汎用性が高いことをアピールできると更に良いと感じた。【豊橋市民病院】</p> <p>⑥ 現状の教育課程でも、より高度な知識、技術を習得させる内容となっていると思われるが、保健、医療分野の企業や自治体と連携した研究による、より実践的な教育課程があると魅力向上に繋がると考える。【豊橋市民病院】</p>	<p>① 修了生の声を Website に掲載しましたが、さらに大学院での学修成果について発信を強化していきたいと考えています。</p> <p>② 通学制の大学院修士課程として設置認可が下りているため、基本は通学しての学修となります。しかし、一部の授業は遠隔での対応が可能となっています。《<u>昨年度指摘事項</u>》</p> <p>③ 定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通して努力する。</p> <p>④ 定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通して努力する。特に、問題解決能力が取得できることをアピールしていく予定である。</p> <p>⑤ 定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通して努力する。特に、問題解決能力が取得できることを中心に、大学院で身に着く能力を簡潔にわかりやすくアピールしていきたい。</p> <p>⑥ 大学院として、学外の関連諸機関との連携強化について検討していく。一方で、大学院組織単位での連携より、教員（研究者）個人ベースでの連携強化が先行すべきとも考えられる。《<u>昨年度指摘事項</u>》</p>

その他

①学生や企業に対し、実践的・専門的な知識の習得のみではなく、あらゆる場面に有効な幅広い考察力や考え方方が身につき、人として成長できることをアピールできるとよいのではないか。

【豊橋市民病院】

②地域のまだ興味を持っていない人や自己による情報収集していない社会人への広報活動が必要か。 【豊橋市民病院】

③海外留学支援制度の体験を授業や広報に活かすべきでは。看護師・療法士の体験がないのが残念。 【豊橋市民病院】

①定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通して努力する。特に、問題解決能力が取得できることを中心に、大学院で身に着く能力を簡潔にわかりやすくアピールしていきたい。

② 定員未充足の状態を解消すべく、情報発信の強化などを通して努力する。

③説明不足で申し訳ありません。「海外留学支援制度」については、その役割や助成は「競争的研究資金制度」に取り込まれる形となっている。ただし、こうしたご意見があることは、経営者サイドに伝え、対外的にわかりやすい制度にすべきかを含めて検討する。《昨年度指摘事項》